



一般財団法人
倉敷成人病センター

新棟の ご案内

ひとりひとりに
やさしく
最良の医療を

*Kurashiki
Medical
Center*

倉敷市に
根ざして **50**年——。これからも皆さま

に寄り添い、ひとりひとりにやさしく最良の医療を提供してまいります。

さまざまな目の病気に悩む方々に、
目の専門スタッフが寄り添う

アイセンター P4



Eye Center
Ophthalmology & Visual Science
Kurashiki Medical Center

放射線治療エリアを新設しました

**包括的ながん治療と
サポート体制** P6

患者さんの心と体への負担を減らすやさしい手術

ロボット先端手術センター P8

病院なのに「居心地が良い」

心安らぐ癒やしの空間 P11

患者さんひとりひとりの生活と気持ちに寄り添う

透析センター P10

センター棟

リハビリ棟 (旧南棟)

クリニック棟

完成した**新棟**はこちらです

バーチャルは1/16~公開予定です

倉敷成人病センター 全景

QRコードを読み取ると
バーチャルで
院内をご覧いただけます





アイセンターのロゴマークについて

青い円内は眼で、赤い核となる「現在」が光の方向に向かうと暖かい太陽のような陽が迎えてくれるというイメージが込められています。眼は「目は口ほどにものを言う」、「一目を置く」などの言葉もあり、この小さな球体でとりとめもない大きな表現を一言で言い表しています。このような広がりを持つ宇宙感も表現しています。



診療から治療までの流れと空間に徹底的に配慮し、患者さんに寄り添います

アイセンター

医師・看護師・視能訓練士など全スタッフが
眼科医療のスペシャリスト。
安心して治療を受けていただけます。

当院の眼科では、加齢や、高血圧、糖尿病などで生じることのある網脈絡膜・硝子体疾患、黄斑疾患など、目の奥にみられる「眼底疾患」に対して高い専門性を持って最先端の医療(患者さんの心身に負担の少ない低侵襲治療)を提供してまいりました。

このたび新設した「アイセンター」は、上記のような高度な技術を要する治療はもちろん、緑内障の最新治療や白内障、さらには角膜疾患など、さまざまな眼科疾患を抱える患者さんへの総合的な対応が可能になりました。また、疾患やけがが原因で見えにくく生活に支障を来している患者さんに対してのロービジョン診療を開設します。

患者さんが特に不安に思われる目の手術ですが、

手術室は温もりある内装でリラックスしていただけるほか、手術中にはネックスピーカーから優しく聴こえるヒーリングミュージックに身をゆだねていただけるような音環境にも配慮いたしました。また高精細4K(3D)ビデオ技術を搭載した手術用顕微鏡システムの導入によりさらに、眼への負担を最小限にする低侵襲の治療を追究してまいります。

医師・看護師・視能訓練士をはじめ、アイセンターのスタッフ全員が眼科医療のスペシャリストとしての自覚を持ち確かなスキルの研鑽をもって患者さんに寄り添います。皆さんに常に安心して治療を受けていただけるよう意識して、ひとりひとりにやさしく最良の医療をお届けいたします。

概要・設備など

- 手術室
不安や恐怖心を感じることがないように、温もりある内装・空間とヒーリングシステムによる音環境を配備
- 周術期ラウンジ
術前後の緊張をほぐし、ゆったりと過ごすことのできるラウンジ
- 病棟
自宅で気持ちよく毎日を過ごす感覚に近いお部屋のづくり。さらに、各病室の入り口には下向きの姿勢を保持しなければならない患者さんのために足元のサイン(右上写真)を設置
- 外来
明るい日差しのもとで、心地よく時間の流れを感じられる空間
- アイセンター全体
外来・病棟・周術期ラウンジ・手術室を隣接フロアに集約することで無駄のない、機能的な動線に配慮

⚠️バーチャルは1/16～公開予定です

入院中は全室個室で
差額ベッド代なし
病棟は4階



プライバシーに配慮した
広々としたフロア
外来は3階



患者さんにやさしい
周術期ラウンジは
2階

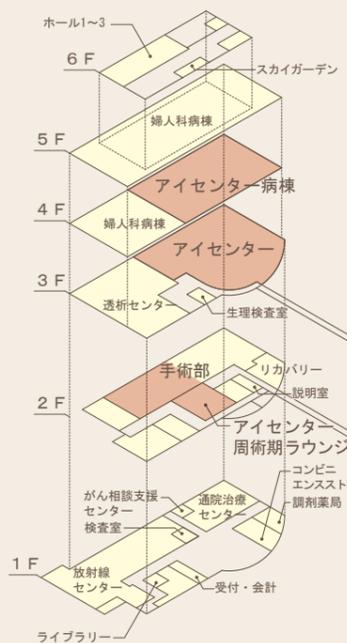


QRコードを読み取ると
バーチャルで
院内をご覧いただけます



※360°パノラマ映像は、2021年3月31日まで閲覧することが可能です

新棟に誕生した
アイセンターはこちらです



新棟



放射線治療エリアを新設しました

包括的ながん治療・サポート

専門スタッフによる質の高い抗がん剤治療と放射線治療を心と体にやさしい空間で。

地域のがん患者さんに寄り添い続けたいと願い、どんな症状の方にも、ひとりひとりにやさしく最高の医療をご提供するため、新棟1階を包括的ながん治療を行うフロアといたしました。念願であった、放射線治療エリアを新設し、抗がん剤治療のための通院治療センターを既存棟から拡大移転しています。

放射線センターには、乳がん・子宮頸がん・前立腺がん・肺がん・食道がんなど、さまざまながんに対する根治治療と、がんの痛みを和らげる緩和治療にも広く対応できる高精度放射線治療装置を導入いたしました。新設する放射線治療科には経験豊富な2名の放射線治療専門医が着任いたします。また、増加する前立腺がん患者さんにとって待望の、

岡山県内では2施設目となる「密封小線源治療」を開始いたします。できる限りリラックスして治療を受けていただけるような空間づくりはもちろん、女性専用の待合室を設けるなどの配慮もいたしました。

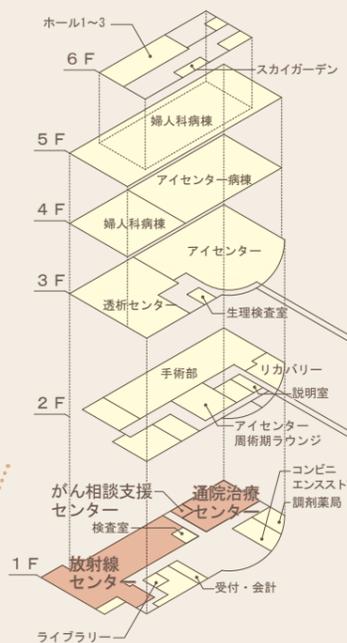
通院治療センターは患者さんやご家族がゆっくり過ごしていただけるようプライバシーに配慮した治療ブースを構え、抗がん剤治療当日の院内での移動を最小限で済ませられるよう診察室や検査室も併設しています。

医師はもちろん、薬剤師、看護師、診療放射線技師、相談員に至るまでがんに特化した専門スタッフが在籍し、チーム医療で患者さんをサポートいたします。

概要・設備など

- 放射線治療専門医が着任し、放射線治療科を新設
- True Beam (Varian社製)による高精度放射線治療と前立腺密封小線源治療
- プライバシーに配慮したゆったりとした明るい15床の治療ブース
- がん専門スタッフでチーム医療を推進(がん専門薬剤師・がん看護専門看護師・がん化学療法看護認定看護師・緩和ケア認定看護師・放射線治療専門技師・がん専門相談員)

放射線治療エリア、通院治療センターはこちらです



QRコードを読み取ると
バーチャルで
院内をご覧いただけます



バーチャルは1/16～公開予定です

抗がん剤治療の患者さんが
過ごしやすいよう配慮された
通院治療センター



※360°パノラマ映像は、2021年3月31日まで閲覧することが可能です

新棟



患者さんファーストで工夫を凝らしました

ロボット先端手術センター

体にやさしく手術後の回復も早い低侵襲手術。
リラックスして最先端の手術を受けていただけるように――。

手術のときに大きく開腹することがないため、身体への負担が少なく術後の回復も早い「低侵襲手術」が注目されています。当院では全国に先駆け1997年より婦人科による低侵襲手術を導入し、多くの実績を残してまいりました。このたび開設するロボット先端手術センターでは、術式の多様化や低侵襲化に対応する医療設備の充実はもとより術前・術中の患者さんの心身のストレス軽減に配慮いたしました。

専用の手術室を4室新設いたしました。どの手術室も一般的な手術室のイメージを覆す「温もりのある照明・木目調のやさしい内装」となっているのは、女性の患者さんや高齢者を含む全ての患者さんのストレスを少しでも軽減したいという想いからです。また、手術室に「輻射式空調」を採用したことで患者

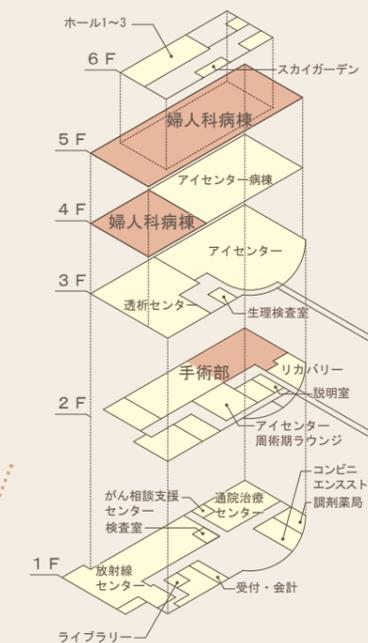
さんに直接風が当たることなく、温度や湿度を快適に調節できるようになるなど細部まで患者さんファーストとなるよう工夫を散りばめました。

医療機器面では、内視鏡手術支援ロボットダヴィンチXiを2台体制にし、婦人科・泌尿器科を中心とした低侵襲手術を更に強化してまいります。また、手術中に使用する内視鏡、顕微鏡、術場・術野カメラなどのさまざまな映像情報や生体情報、電子カルテ情報を一元化し、手術中においても必要な患者情報を迅速かつ容易に入手できる手術データ統合システムを導入しました。手術にかかわるすべてのスタッフで共有し、より正確で安全な手術運営を目指してまいります。

概要・設備など

- 内視鏡手術支援ロボット ダヴィンチXiを2台体制にし、低侵襲手術を推進(婦人科・泌尿器科)
- 患者さんのストレス軽減に配慮し、手術室環境も整備(照明や音響などリラックス効果に配慮)
- 輻射式空調により、直接気流、温度のばらつき、乾燥などのストレスを軽減
- 手術で使用するさまざまなデータを統合しモニターに集約。デジタル技術でより正確・安全な手術を目指す

ロボット先端手術センターはこちらです



⚠️バーチャルは1/16~公開予定です

婦人科病棟は5階
(入院時は全室個室です)



QRコードを読み取ると
バーチャルで
院内をご覧いただけます



※360°パノラマ映像は、2021年3月31日まで閲覧することが可能です

新棟



患者さんひとりひとりの
生活と気持ちに寄り添う

透析センター

透析用ベッドを25床へ増床した透析センターが、新棟の3階に生まれ変わりました。新しい透析センターは、治療環境および治療の質をより充実させるよう設計いたしました。透析センター内は、明るく開放的にデザインし、更衣室や待合も充実させることで、治療中はもちろん治療前後もゆったりとした時間をお過ごしいただけます。

治療面では、通常の透析に加え「オンラインHDF」を全てのベッドで行うことができました。オンラインHDFとは、血液透析に濾過を加えた治療法です。通常では取り除くことが難しい老廃物の除去ができるようになり、合併症の予防や改善に効果が期待できます。

食生活の変化や高齢化、糖尿病患者さんの増加を見据えて、今後も患者さんの心身への負担をできる限り軽くし、安全で良質な透析医療を提供できるよう心掛けてまいります。

⚠️バーチャルは1/16～公開予定です

3階の透析センター
広々とした空間で、ゆったりと
できるスペースを確保

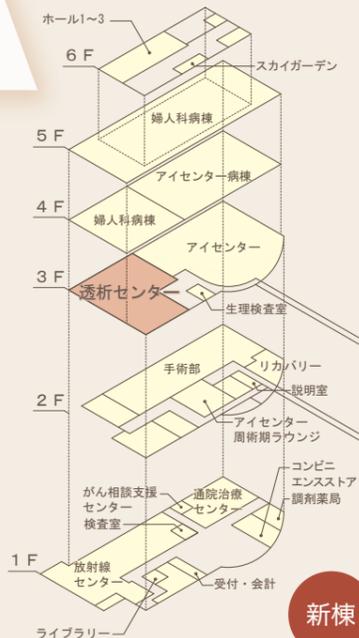


※360°パノラマ映像は、2021年3月31日まで
閲覧することが可能です

概要・設備など

- 透析用ベッドをこれまでの16床から25床へ増床(全てのベッドでオンラインHDFが可能)
- 透析管理システムを導入し、データの一元化を実施
- 内科医、泌尿器科医、シャント外科医など多岐にわたる診療科の連携による万全なフォロー
- 経験豊かな看護師や臨床工学技士、管理栄養士によるチーム医療体制

透析センター
はこちらです



新棟

QRコードを
読み取ると
バーチャルで院内を
ご覧いただけます



病院なのに
居心地が良い

心安らぐ癒やしの空間

新棟のデザインコンセプトを考えるにあたり、患者さんファーストであることは大前提として、「病院の無機質で殺風景」というイメージを「病院なのに居心地が良い」と感じる「心安らぐ癒やしの空間」へと変えることができたなら…とさまざまな演出を施しました。

四季折々の花木やチタン製のモニュメントを見ながらエントランスに入ると、まず、目に飛び込んでくるのはダイナミックな「時の泉」。外光が差し込む開放的な空間で水の音色や水の創り出すさまざまな模様が楽しめます。

また、医療情報を検索できる患者図書室やタッチパネル型デジタルサイネージ、癒やしの映像が楽しめるヒーリングサイネージ、水紋をイメージした緩やかなカーブが落ち着きを与える内装デザインなど、1階から6階のホールやスカイガーデンまで細部にわたり、こだわりをちりばめました。

最上階(6階)のホールは最大340人収容可能となっており、今後、市民公開講座など地域の皆さんにもお越しいただける場として使用していく予定です。

新棟を訪れるすべての方にとって、病院にいる緊張感を忘れることができる「心安らぐ癒やしの空間」となればと願っています。

⚠️バーチャルは1/16～公開予定です

6階には市民公開講座や
学会などで利用できる
ホール



※360°パノラマ映像は、2021年3月31日まで
閲覧することが可能です

木々の中に水が
流れるような雰囲気
を楽しめる1階

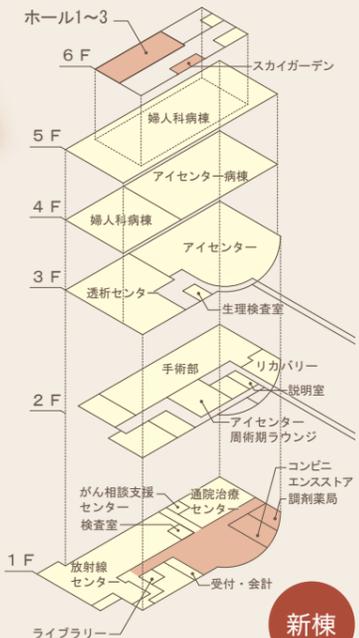


概要・設備など

- 最大340人収容可能。多機能・多目的なホール(6階)
- 緑と水と光をテーマにしたエントランスホールと庭園(1階)
- 全国初の建物内「院外薬局」を採用(1階)
- 患者図書室・ベビールーム・トイレに至るまで心安らぐ空間が充実(1階)

患者さん
ファーストの
機能&デザイン

QRコードを
読み取ると
バーチャルで院内を
ご覧いただけます



新棟

新棟フロアマップ

6F

ホール1~3
スカイガーデン

4F

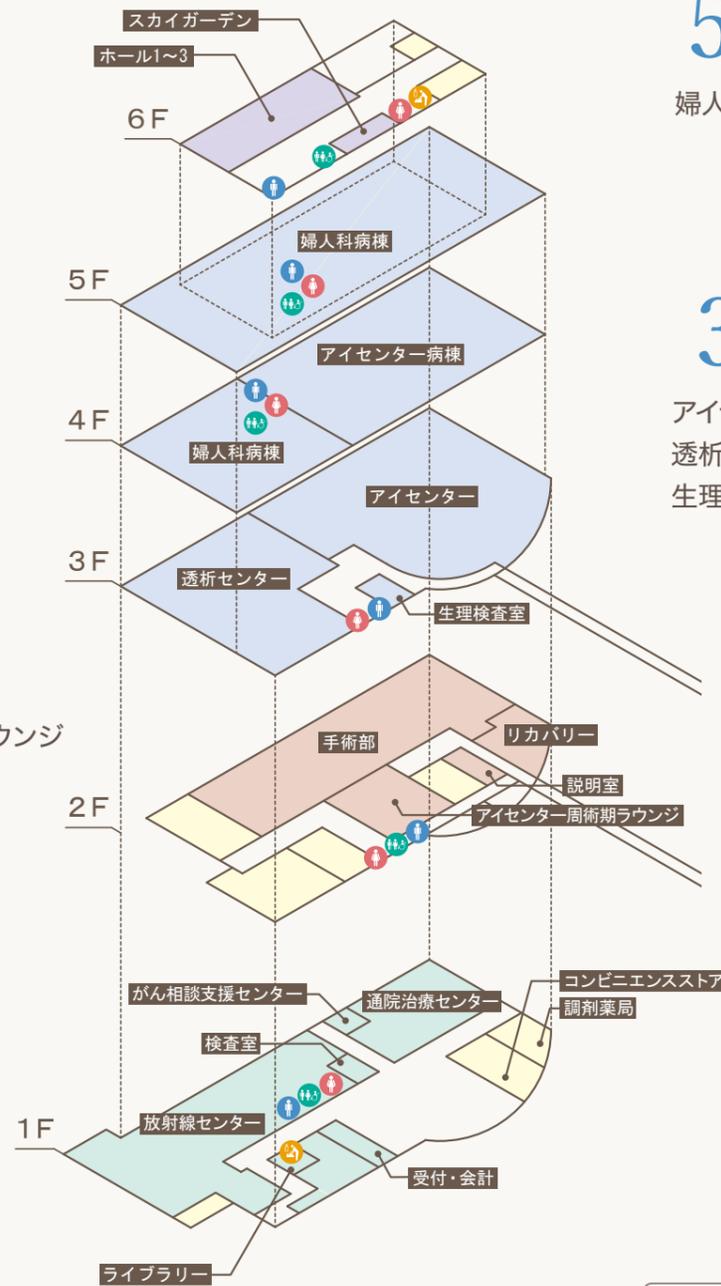
アイセンター病棟
婦人科病棟

2F

手術部
アイセンター周術期ラウンジ
リカバリー
説明室

1F

放射線センター
通院治療センター
がん相談支援センター
検査室
受付・会計
ライブラリー
調剤薬局
コンビニエンスストア



5F

婦人科病棟

3F

アイセンター
透析センター
生理検査室

- 女子トイレ
- 男子トイレ
- 多目的トイレ
- ベビールーム

新棟完成に寄せて

創立者 須原銀兵衛之像



一般財団法人倉敷成人病センターの創立者 須原銀兵衛は、須原外科からはじまり「医学の進歩は人間を幸せにするためのものである」という原点を忘れずに、人間愛と向上心に富み、地域の人々から信頼される医療を提供することを目指し続けてきた。「医療は営利と結びつくべきでなく常に仁たるべき」という考えの下、昭和四十六年に臨床・研究・予防を三本柱に定めた財団法人倉敷成人病センターを設立、理事長に就任した。

また、海外でも日本と等しい医療が受けられるようにと考え、昭和五十八年、シンガポールにクリニックを開業、民間医療機関としては初の海外進出を果たした。その後、ロンドン、上海にも展開した。

「夢を持って“医療人”として生きること」「常に夢を持ち、一生懸命努力し、職員みんなが幸せであること」が口癖であった。

この精神が永遠に継承されることを祈念し、ここに創立者を偲び像を建立する。

一般財団法人 倉敷成人病センター

理念を実現する強い意志を持ち、時代や地域のニーズに柔軟に対応しながら、倉敷の地に必要とされる病院として存在し続けたいと願い、50年。当院は『臨床』『研究』『予防』を3つの柱として、皆さまに支えられながら発展してまいりました。

新棟とセンター棟を結びつける位置にあるチタン製のモニュメントは、縁のある「3」に想いを重ね3面にそれぞれモチーフを表現しました。

北東面：倉敷市の市木“くすのぎ”と市花“ふじ”の周りを

楽し気に飛ぶ市の鳥“カワセミ”を描き、倉敷市への愛着を表しています。

北西面：“健やかな成長”と“魔除け”の意味を持つ日本の伝統的文様である

麻の葉をあしらひ、当院で誕生するお子さまや治療後の患者さんの健康を祈念しています。

南 面：“人と人との縁や関係性の円満”と“繁栄”の意味を持つ日本の伝統的文様である

七宝繋ぎをあしらひ、当院と連携する方々との良縁と発展を祈念しています。

皆さまにとって唯一無二の存在としてあり続けたい。

これからも皆さまに寄り添い、

ひとりひとりにやさしく最良の医療を提供してまいります。

診察(初診・再診・変更)のご予約

倉敷成人病センター 予約センター

平日9:00~16:00

☎086-422-2112

土・日・祝日・年末年始
(12月30日~1月3日)を除く

※ご予約の際は診察券を、予約変更の場合は予約票をご用意ください。 ※変更の場合は13:00~16:00が受付時間です。

患者さん紹介などのお問い合わせ

患者総合支援課 地域連携

平日8:30~18:30

☎086-422-2116

土・日・祝日・年末年始
(12月30日~1月3日)を除く

交通案内

広域MAP



拡大MAP



🚗 お車でお越しの方

山陽自動車道『倉敷IC』
または、瀬戸中央自動車道『早島IC』
より約15分。

🚌 バスでお越しの方 ※『JR倉敷駅』から乗車の場合

- 下電バス** 『塩生線：大高経由JR児島行き』『茶屋町線：倉敷成人病センター行き』『中庄線：倉敷成人病センター行き』乗車、『倉敷成人病センター前』下車。
- 両備バス** 『倉敷循環線：左回り』乗車、『倉敷成人病センター前』下車。

🚆 電車でお越しの方

JR『倉敷駅』下車。
徒歩約20分、バス・タクシーで約5分。

✈️ 岡山空港からのアクセス

空港連絡バス『倉敷行き』乗車、終点『JR倉敷駅』下車。
『JR倉敷駅』からは徒歩約20分、またはバス・タクシーで約5分。

P 駐車場のご案内

24時間駐車可能(約500台)

- 外来受診の方 無料(当日の領収書提示)
- 一般の方・お見舞いの方 30分以内無料(以降30分ごとに100円)